

1, 体内に医療用の機器・金属（ペースメーカー、植え込み型除細動器、神経刺激装置、植え込み型ポンプ）があると MRI 検査は出来ません。MRI 対応型もありますが、脳ドックでの MRI 検査は行っておりません。

2, 確認が必要な場合

・インプラント義歯がある場合：インプラントのある方は、ぐらつきがなくしっかり固定されていれば安全に検査が出来ます。磁石のついた義歯（入れ歯）を使用されている方は、多くの場合は問題なく検査が出来ます。ただし、歯茎の側に磁石がある場合は磁力が弱まる可能性がありますので、あらかじめ歯科医にご確認ください。口の中の金属（義歯や矯正）の周囲は画像が乱れるため、部分的に画像の評価が難しくなることがありますが、脳の大部分は問題なく評価できます。

・人工内耳、義眼、水頭症シャントチューブ、植え込み型心電計、脳動脈瘤クリップ、子宮内避妊具、静脈フィルター、機械的人工心臓弁に関しては、主治医に確認して MRI 対応型であるかどうか、MRI 検査が出来るかを確認していただく必要があります。当日製造メーカーのカードなどで確認が出来れば問題ありません。

※特別な処置や対応が必要な場合には、人間ドックの MRI 検査は当院では行っておりません。安全性を考え、主治医と相談していただき、各科外来を受診していただく必要があります。また、健診センターで検査可能か判断がつかかねる場合にも、専門科外来を受診し、ご相談、ご確認をお願いいたします。

・インスリンポンプ、持続血糖測定器については、本体の着脱がご自分で出来て、交換用の新しいカニューレや針などをお持ちになれば撮影は可能です。

・尿道留置カテーテルにおいて、DIB キャップがついている場合は、キャップを取り外して採尿袋に接続していただくことが必要です。

3, 妊娠中、妊娠の可能性がある方は、脳ドックでの MRI 検査は出来ません。

4, 眼球内に金属片がある場合、MRI 検査が出来ません。（金属加工を職業としている場合に注意が必要です。金属片があると視力低下の危険がありますので、事前に眼窩 CT で金属片の有無を確認されることをお勧めします。ご心配な場合はあらかじめご相談ください。）

5, 1 ヶ月以内に消化管の止血クリップを留置した方は、MRI 検査が出来ません。クリップが外れて出血するリスクがあります。